

平成 29 年 2 月 24 日

東京都のがん対策事業で「優良賞」を保険業界で初受賞

～ がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う企業表彰 ～

アフラック（日本における代表者・社長：山内 裕司）は、東京都が実施する平成 28 年度「がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う企業表彰」において、保険業界で初めて「優良賞」（大企業部門）を受賞しました。

本表彰は、東京都のがん対策事業の一環として平成 26 年度から行われており、「治療と仕事の両立」の必要性や意義について、社会や企業に広く普及・定着させるとともに、成果を挙げている取組を周知することにより、企業におけるがんなどの傷病を抱える従業員に対する治療と仕事の両立を推進することを目的としています。

当社は、昭和 49（1974）年に「がん保険」を日本で初めて発売した保険会社として、広く社会に向けてがんに関する啓発活動を展開していますが、当社従業員のがんに関する正しい理解の促進にも長年努めてきました。また、がん治療と仕事の両立支援においては、人事部内に「健康管理室」（産業保健担当部署）を設置し、がんに関与した従業員の上司と連携できる体制を整備するなど、従業員を支援するための体制整備を着実に進めていることが評価され、このたびの受賞となりました。

受賞に際し、社長の山内は次のようにコメントしています。

「当社は昨年『健康経営宣言』を制定し、これからもアフラックが社会に必要とされる会社であり続けるため、社員の健康増進に積極的に取り組んでいくと宣言しています。さらに当社はがん保険のパイオニアとして、社員ががんに対する正しい知識を十分に身に付けていることから、社員本人ががんに関与した場合でも、当然のこととして『がん治療と仕事の両立』を実践してきました。がんに関与した社員が自らの経験のもと、さらに活躍の場を広げビジネスに貢献し続けてくれること、そして周囲もがんに関与した同僚を心から応援できる当社の風土を誇りに思います」

当社では、多くの方々の“「生きる」を創る。”保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

*Creating Shared Value